

# 緑ヶ丘だより

発行 令和4年11月  
座間市緑ヶ丘地区自治会連合会

## 「自治会の心の原点」

緑ヶ丘中央自治会会員 樋口正夫 232世帯



町の木々の葉が色づき、秋を感じる今日この頃です。夜には虫の声が聞こえ、明るい防犯灯の光が道を照らしてくれている。この町に暮らして速や49年、数年前に久しぶりに何回目かの自治会の班長役が回って来て、あらためて幾つか大切なことに気づきました。それは、自治会役員の皆様のあたたかい陽光のような思いやりが、私たち住民生活の維持、向上のためにそそがれているということです。

住民生活の維持、向上としては(概略)  
「ゴミ、集会所清掃など環境衛生対策」、「防犯パトロール、防犯灯など防犯対策」、「市民レクリエーション、盆踊り、子どもたち青少年や老人関連の催事など、地域ふれあい活動」、「赤い羽根など募金、社会福祉活動」、「災害時避難所など防災対策」、「ニュース広報活動」等々です。

そして、これらの活動は、行政が代行するのは困難であり、まさに自治会の役目だと思います。また、昨今の社会状況において、自治会員の退会の懸念がありますが、相当数の自治会員が多忙の中、活動されていることは救いでもあります。

当自治会では、会長様の御配慮のもと、住民の善意に基づき、班長さん役を担当できないやむを得ない事情(健康、仕事、高齢、個人的事情、等々)があるときは、退会しなくても、班長さん役を免除できる規約を定期総会にかけて作りました。

これからも、平和を愛し、コロナ禍など誠に大変ですが、自治会役員の負担を軽減して、ささやかであっても、和やかに柔軟に住民のための活動を続けて行けば、若い世代が子育てを含め、四季折々の住む町の心あたたまる息吹にふれる機会も増え、町を大切に思うきっかけとなり、多忙な中にも一時の自治会活動への参加、協力の時間を作って戴けるのではないかと思う次第です。行政とも連携して、心豊かな町で在ることを願ってやみません。



最近のさつき自治会の活動について  
さつき自治会 書記 小池順一 169世帯

自治会活動については、前回受任が2010年(平成22)だったので12年のブランクがあります。この12年で変わったことや、感じたことを書いていきたいと思います。

まず一番に感じたことは、自分も含めて「高齢化」が進んでいるということです。前回は書記を受任した関係で、各家族構成を管理しているのですが、若い方がお家を出られていたり、当時から皆さん12年年齢を重ねておられる関係で、順調に高齢化が進んでおります。ご高齢の方に於いては、施設に入所されたり、ご逝去されるに伴い、退会される方が増えております。

次に自治会活動の負担から、退会を選択される方が増えていることです。昔に比べ現役世代の労働時間は共働きなどの事情で確実に増え、余暇を自治会などの公的共助に割ける割合は減少し、こればかりはどうしてもできない印象です。正直自治会活動に伴う負担は想像以上に大きく、一度経験されてから次回受任打診の相談時に退会される方も少なくありません。昨今、核家族化が進み、普段の生活で何の協力も得られないところに自治会活動の協力を求めるのは無理があると思います。現役世代が退会していく現状は、自治会の高齢化に拍車をかけているわけです。

最近、老人会、子供会についても加入者の減少に合わせ、負担増に伴う活動休止状態、または解散に向かう傾向が見られます。これは、誰も責められるものではありません。負担が大きい割にメリットが得られない活動を継続することはできないのです。

自治会についても同様のことが起き始めている印象です。幸いにも、まだ時間的な余裕は残されているように感じています。無くなってから一から始めるより、継続するため負担を減らしてゆく方向に、皆さんで一度話し合ってみてはいかがでしょうか。



座間市に引っ越して2年が経ちました。休みには夫、愛犬と緑ヶ丘近辺の公園を巡り、新たな発見を楽しんでいます。もう終わりが近づいていますが、金木犀がふわっと香る、線路近くの通りも、帰り道お疲れの私にとつては少し楽しみなどころでもあります。

自治会長になってあっという間に半年が過ぎ、漸く、なんとなく仕事に分かってきたのかな、いやまだまだ足りてないのかなと悩ましい今日この頃です。それまでは自治会とは無縁で、親が月一回程度集まりに出て、私はお菓子をもらいに行っていたなという記憶しかありませんでした。引っ越して新たな生活をするその地域を知るきっかけにもなりと思いい、自治会に入会をしました。私の住んでいる地域は若い世代や子どもが幼い家庭が多く、集金でご挨拶に回った際、世代が近いこともあってかとても親切に対応・応援してくださいました。正直会長なんて御身分は私には無理だと消極的ではあったのですが、前会長の細かくメモされた引き継ぎのファイルと地区自連の仲間がさまざまな行事・会合に積極的に手を挙げて行動を起こしてくれているので、周りに大変助けられ、続けられています。

若い者には経験値的にもどうなのかと思っていた会長の役割ですが、逆に前向きに新しい発信や若い世代の要望に耳を傾けられる良きタイミングと捉え、大いに活用してみてもいいかと考えております。大口を叩いていますが、皆さんの協力あってこそですので、謙虚に、残りの期間を進めていければと思っています。

◎ まる得情報

- ①NHKテレビ あさいチ 4月12日(火) ツイQ楽ワザ 豆腐を味わい尽くす!  
ちょっとしたひと手間 で 冷ややっこが極上!  
冷たすぎると風味を感じにくい。冷蔵庫から出してすぐの豆腐はおよそ10度でしたが、豆腐をパックから取り出し、水けを取るために紙タオルで包みます。  
お皿にのせて、電子レンジにかけます。  
電子レンジは200w 解凍1分。200ワット設定がない場合は、解凍モードや弱加熱モードでもOK。あとは取り出してお皿に盛りつけるだけ。  
たった1分チンするだけで極上の味わいになる楽ワザ。香り味も違います。  
冷蔵庫から出して電子レンジ(200w)にかける時間。絹ごし木綿も同じ。  
3個パック 150g 2つでは 1分20秒、150g 3つでは 1分50秒  
300g 1つでは 1分20秒  
レンジを使わない場合は、冷蔵庫から出して20分から30分置くことと食べ頃の17度になります。  
醤油はどばとかけるのではなく、その都度少しずつかけるのが良いとのこと。

②TBSテレビ 4月16日(土) 朝7時58分から サタプラ 商品のランク付けをする番組。



10月23日(日)、天候に恵まれ、緑ヶ丘地区市民レクリエーションが開催されました。コロナ禍の中数年ぶりに開催された市民レクリエーションは、緑ヶ丘地区では初めての試みになる谷戸山公園のウォーキング形式でした。

10数年前、始めて自治会の役員当番が回ってきた時も市民レクリエーション担当でした。当時の運動会形式の市民レクリエーションは、各自自治会役員の負担が多く、みなさんご苦勞なさったと思います。

あれから10数年、コロナ禍のなか今年は市民レクリエーションを開催するのかしないのか、開催するなら従来とおりの運動会形式にするのか、全く違ったもので開催するのか議論をし、今回は谷戸山公園でのウォーキング形式で行う事になりました。各自自治会が参加するのかしないのかを決める事ができ、我が第一住宅は初めての試みであるウォーキング形式の市民レクリエーションに参加する事を役員会で決めました。

今回は役員の負担を極力少なくする事に重点を置いたので、各自自治会からは当日のお手伝いとして、2名程度の方に御協力いただきました。担当役員の負担も得意の分野を活かして役割を決め、お弁当や景品なども一括で購入するなど、従来運動会形式とは比べものにならないほど、軽減されました。

さて、当日の市民レクリエーションは、ウォーキング形式で行った為か大人の方の参加が多かったように思います。公園内にある8つのポイントを好きなように回る、もちろん全て回らなくても良いルールだったにも関わらず、ポイント全てを回られた方の多さに驚きました。お弁当と景品をお渡した時に、「こんなに貰えるの!!」と喜んでいただけた方が多かったのも印象的でした。

ウォーキングの後は、子供も楽しめる〇×クイズ、開始までに多少の時間があつた為、ウォーキングだけ参加して帰られる方もいらっしゃいました。良いんです自由で、「ゆるゆるウォーキング」なんですから。

市民レクリエーション終了後、配られたお弁当やお菓子を公園内で食べている親子連れ。帰りがけに知り合いのお宅に寄ってお弁当でランチをし、久しぶりにご近所コミュニケーションがとれたわと喜んでいらっしゃる方もいました。市民レクリエーション終了後も、思い思いに楽しいひと時を過ごせたのではないのでしょうか。



## 「自治会は面倒なもの？」

緑ヶ丘南自治会会長 湯浅一弘 199世帯

最近、転入されて来た方に自治会加入をお誘いしたところ、一旦「入会します」というお返事を頂いたものの、後日、「やっぱり入会しない。自治会はいろいろ面倒なので」ということで断られてしまいました。もちろん、「そんなに面倒なものではありませんよ」とお伝えしたものの、意思は変わりませんでした。どうもこういった「自治会は面倒なもの」という考えが広く行き渡ってしまっているようです。集金はしなければいけないし、役員になるといろいろ引っぱり出され、負荷が多くなるということなのでしょう。昔からのネガティブなイメージが尾を引いています。

緑ヶ丘南自治会では、数年前に構成を再編し、十数世帯～二十世帯で一つの組としました。つまり、十数年から二十年に一度しか役は回ってこないこととなります。さらに、役が回ってきても、会議の頻度や実施すべき項目の軽減策を講じ、負荷軽減を図ってきました。中には、一年やって「楽しかった」と言ってくれる人もいます。しかし、この辺りは、残念ながら、まさしく十数年に一度しか実感できません。

ネガティブなイメージを良くすることは容易いことではありません。地道に改善し、改善したことをできるだけ広く知ってもらえるように努力することが必要で、できればそれに加えて新たな魅力を提供することが必要です。「できる人が、できる範囲で、楽しくやる」ことを前提に、面倒な自治会からの脱却を目指したいと考えます。

## 「自治会の役員になって」

新緑ヶ丘自治会副会長 塚田博幸 130世帯

自治会で役員をされた方、任期が終わると役員の人や他の自治会で知り合った方との付き合いも、そこで終わってしまう方も多いのではないのでしょうか？

私は自治会副会長になってから10年目になりました。防災・防犯担当が6年、文化・レクリエーション担当が4年になります。

趣味として月1回の「男の料理教室」も10年。そこで数年前に某自治会のMさんに会員のお誘いをしました。直ぐに皆に溶け込んで料理の腕は上がってきました。「私の野菜カッターは負けていません」(笑)、自治会の話題から離れても料理の話や日常の話が出来る友人が出来たことは有りがたいことです。

バイクのツーリング友達が出来た話は、またの機会にしたいと思います。



## 「地域の輪を広めたい」

新緑ヶ丘自治会副会長 大塚正栄

私は、今まで毎年自治会の催し物には家族で参加し、地域の皆さんとの交流を楽しむことができました。かにかが沢さくら祭り、盆踊り大会、市民レクリエーション、わくわく鍋を囲む会、どんど焼き等です。

子どもたちも独立したころ、自治会役員さんから「自治会のお手伝いをしていただけませんか」とお話がありました。私は、「会議等毎回の出席は無理です」と伝えると、「やれる時に、やれることを一緒にやりましょう」と誘われました。

その後は防災担当として役員の皆さんの協力のもと、消防署の指導で初期消火箱内のホースの使い方と消火栓につないでの放水訓練、心肺蘇生法の手順とAEDの使用方法を、地域の皆さんと体験できました。

これからも避難所開設訓練を通して、「地域の輪」を広げたいと思います。



## 「自治会役員となって」

新緑ヶ丘自治会役員 浜砂俊輔

2021年度より新緑ヶ丘自治会役員を拝命し今年度より環境・美化を担当しています。自治会運営は初めての経験ですが、他役員の皆さんのサポートを受けながら活動内容の理解を進めているところです。役員になる前は地区内の情報を得る機会がなく、どのような事が問題となっているのか、ほとんど認識できていませんでした。

新緑ヶ丘自治会での最近の話題のひとつに、ごみの不法投棄問題があります。タイヤ、消火器、パソコンのモニター等、不法投棄があった場合はラベルにて注意喚起を促していますが、残念ながら引き取られることはありません。またカラスによるごみの散乱も散見される所であり、街の美観を著しく損ねるこれらの問題にどう対処して行くのかはこれからの課題と認識しています。

私事ですが、健康維持ため相武台前駅まで徒歩で通勤しています。2km弱ですが各地区とも清掃が行き届いており毎日気持ちよく歩くことができます。このような環境が何時までも継続するよう微力ながら協力して行きたいと思います。



「わかば自治会」からの原稿はありません。